

平成29年度 第1回東市民センター運営審議会 議事録(要旨)

1. 日時 平成29年8月24日(木) 10~12時
2. 開催場所 東市民センター(なみきスクエア)
3. 出席委員 14名(岡, 花田, 三苫, 扇, 石川, 丸岡, 堤, 崎村, 白石, 大寶, 三宅, 熊谷, 渋谷, 田村)
4. 指定管理者 6名
5. 事務局 東市民センター館長 外4名
6. 議事内容

- (1)事務局あいさつ
- (2)辞令交付
- (3)委員・職員紹介
- (4)委員長・副委員長選出
- (5)議題

①東市民センター利用状況について

【委員】開館後1年分のデータによると、利用件数、利用者数が旧市民センターと比べて1.6倍になった。

【委員】部屋別利用状況について。調理実習室の利用状況が低いのは、認知度が低いのかかもしれない。何かこれからの対策を考えているのか。

【事務局】オープン当初は20%程度だったので、もっと利用率を上げられないかと指定管理者と相談し、指定管理者の事業としてなみきクッキングという料理教室を開催している。加えて昨年度の市民企画講座においても料理教室を実施しており、その受講者が現在も引き続き利用している。市内の施設で調理実習室があるアミカスやあいいの利用率も30%程度である。実習室はどうしても用途が限られるため、改善の努力はしていくが会議室ほどの利用率は難しいと感じている。

【委員】なでしこルーム(フリースペース)についてだが、他の市民センターには似たような性格の場所はないのか。

【事務局】ない。今回市民センターとして初めて設置した施設である。旧市民センターになくて新市民センターにあるものは、なでしこルーム、調理実習室である。この2つのスペースは7区の市民センターで初めてできた施設である。旧市民センターには音楽室があったが、なみきスクエアは音楽・演劇練習場が併設されているため、新市民センターには設置していない。

【委員】市民からすると、使用用途がむしろ増えたことになるのか。

【事務局】スペースとしては、増えたということになる。

【委員】キッズルームはいつも人が多いが利用状況はどうか。

【指定管理者】キッズルームは「どなたでも自由にお使いください」というコンセプトで開放しているので、数は具体的に把握していないが、朝から夜まで常時4、5名はいる状況。

②平成28年度主催事業実施状況について

【委員】地域活動を支援する人材発掘のための具体的な取り組みがない。

【委員】どのような対象にどのような事業をすれば、生涯学習の人材育成につながるのかというとても重い問題だと思う。

【委員】自治協や公民館も行っているが、お互いなかなか難しい状況である。

【委員】大学では、講座だけではなく地域連携センターとかで地域の方とともに共同研究を行っている。

【委員】一緒に地域の方と動いているという意味では、人材育成になるのではないか。

【委員】ある程度決まった人が何役もしている。若い人が忙しいのもわかるが、若い人にも参加してもらえるような場が増えるといいと思う。なるべく声掛けはしているが、継続的に、積極的に関わってくれる人が少ないのが現状だと思う。

【委員】若者への働きかけに関しては、市民センターの方が強いと思う。活躍できる人材を発掘するきっかけや講座等がセンターとしてあればいい。今あるコンテンツをどのように地域を支える人材に繋いでいくのかという意識で、意味付けていくかが大事かと思う。

【委員】予算が限られている中で、お互いが情報交換等の連絡を取り合って連携していかないと、乏しい資源でやっているのだから成果があがらないと思う。ぜひ、市民センターと地域支援課、公民館でもっと連携していくべきだ。

【委員】様々な部署と連携をして、限られた予算と人材の中で力が出せるように活動していきたいと思う。

【指定管理者】指定管理者としても、役に立てるような事業を行っていきたい。

【委員】連携という点では、モデルとなるような体制を作っていただきたい。東区は校区も多く、一自治体レベルの人口と組織である。普通だと、一自治体としてもものすごい推進力で行って行けるが、それを区で行わなくてはいけないという点では、行政として人材や金銭面で厳しいのではないかと思うが、なんとか今ある人と資源で行っていただきたい。

【委員】事業評価については、評価基準を作るべき。また、それぞれの項目についても評価基準を具体的にすると、もっと細かな来年度に対する評価ができるのではないかと思う。課内だけの評価にとどまるならもっと具体的に作ったほうがいい。

【事務局】当課ではアンケートを基に評価している。厳密な評価は難しいが、アンケートの声をきちんと反映していきたい。

③平成29年度主催事業計画及び実施状況について

【委員】来年も、なみき芸術祭は6月4日に開催するのか。運動会と重なって中学生が出

られなかったので、もう少し考慮してほしい。中学校の吹奏楽部が出る機会がなくなってしまうという懸念がある。

【事務局】学校の状況や他の事業との兼ね合いをみて決定したい。

④指定管理者の施設運営に関する取組状況について

【指定管理者】社会包摂事業として、福岡市子ども病院と連携して病院でプラネタリウムの上映を実施した。プラネタリウムを病院に持っていき、子どもたちに楽しんでもらえた。29年度も引き続き行いたい。また、福岡市東部療育センター等との連携をして事業をできないか市と相談しており、市と施設となみきスクエアで、いろいろな事業を展開できればと思っている。

【指定管理者】全国的に注目されている岐阜県の可児市文化創造センターを参考に行きたい。

【委員】先進的に九州初の試みを行うのは、なみきの発信力として大事なことだと思うので積極的に行っていただきたい。また、指定管理者だけでなく、生涯学習推進課も一緒に進めて行ってほしい。

【委員】このような会議で出る意見をすぐに実行してもらっており、よかったと思っている。

【委員】使い勝手もいいし、市民からの苦情も減っているようだ。

【委員】なでしこルームについて、11月に学生に対する苦情が多かったが、12月に急に減ったのはなぜか。

【指定管理者】なでしこルームに警備員を配置したことで、苦情の減少に繋がったと思う。

【指定管理者】学生は税金を払っていないのになぜ利用しているんだ、という意見も当初はあった。しかしお互いを認め合ってもらえるようになり、学生に対する不満も減ったと思っている。

【委員】荷物を隣の椅子に置いて座れないようにしていることがある。モラルの問題だが、荷物は下に置く等徹底してもらおうと、もっと気持ちよく利用できると思う。また、なでしこルームは学生しか使えないような雰囲気になっている。勉強しているので喋ってはいけないのか、と遠慮してしまう。もっと使いやすくなればいいと思う。

【指定管理者】利用案内を作成して、荷物を置いての利用はやめてください、勉強をしていない人には申し訳ないが帰ってください、と言っている。なでしこルームはみんなに来てほしいというコンセプト。巡回頻度を高めていきたい。いずれにしても譲り合っていたくことが一番いい。

(6)閉会